**様式２**

企　　画　　書

〔独立行政法人農林漁業信用基金に関する法律顧問業務〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふ り が な |  | 電話 |  |
| 氏　　　名 |  | FAX |  |
| ふ り が な |  | | |
| 所属事務所名 |  | | |

＜企画書作成について＞

下記の内容を盛り込んだ企画書を作成すること。

①　過去５年間に担当した農業、林業・木材産業、漁業に関する法務相談実績（件数）及び概要

②　過去５年間に担当した金融法務、債務保証・保険分野に関する相談実績（件数）及び概要

③　農業、林業・木材産業、漁業に係る知見

④　金融法務及び債務保証・保険分野に係る知見

⑤　業務を担当する弁護士の体制及び相談を受けた際の回答体制

ア　相談業務を担当する弁護士の体制

イ　相談業務を受けた際に要する時間（迅速に対応できる体制にあるか）

ウ　相談事案に関する態様（面談、電話、電子メール、ファックス、外部打合せへの出席等）

⑥　その他アピールできる事項

（注）書ききれない場合は別紙でも可とする。

|  |
| --- |
| ①　過去５年間に担当した農業、林業・木材産業、漁業に関する法務相談実績（件数）及び概要  実績件数： 件  概　要： |

|  |
| --- |
| ②　過去５年間に担当した金融法務、債務保証・保険分野に関する相談実績（件数）及び概要  実績件数： 件  概　要： |

|  |
| --- |
| ③　農業、林業・木材産業、漁業に係る知見 |

|  |
| --- |
| ④　金融法務及び債務保証・保険分野に係る知見 |

|  |
| --- |
| ⑤　業務を担当する弁護士の体制及び相談を受けた際の回答体制  ア　相談業務を担当する弁護士の体制  ※　担当弁護士の他、複数で対応する場合は、他の弁護士の経歴がわかる書類（参考書式）を添付すること。  相談業務を担当する弁護士の要員： 名    弁護士名：  イ　相談業務を受けた際に要する時間（迅速に対応できる体制にあるか）  ウ　相談事案に関する態様（面談、電話、電子メール、ファックスの体制があるか、外部打合せへの出席等） |

|  |
| --- |
| ⑥　その他アピールできる事項（総務等の管理部門に関する事項を含む。） |